

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人
大山町社会福祉協議会

法人運営・地域福祉事業

1. 社会福祉協議会組織の運営

(1) 会議の開催

① 理事会の開催

回数・期日・場所	出席者	議案	結果
第1回 令和6年4月25日(木) 保健福祉センターだいせん	理事6名 監事2名	1. 理事候補者の推薦について 2. 評議員選任・解任委員の選任について 3. 令和6年度第1回評議員会の開催について	議決
第2回 令和6年6月10日(月) 保健福祉センターだいせん	理事7名 監事2名	1. 令和5年度事業報告及び決算について 2. 令和6年度大山町社会福祉協議会会長表彰について 3. 令和6年度定時評議員会の開催について	議決
第3回 令和6年11月18日(月) 保健福祉センターだいせん	理事7名 監事2名	1. 令和6年度第1次補正予算(案)について 2. 令和6年度第3回評議員会の開催について	議決
第4回 令和7年3月6日(木) 保健福祉センターだいせん	理事6名 監事2名	1. 令和6年度第2次補正予算(案)について 2. 令和7年度事業計画(案)について 3. 令和7年度予算(案)について 4. 定款の変更について 5. 就業規則一部改正(案)について 6. 臨時職員就業規程一部改正(案)について 7. 給与規程一部改正(案)について 8. 育児・介護休業等に関する規程全面改訂(案)について 9. 役員等賠償補償について 10. 令和6年度第4回評議員会の開催について	議決

② 評議員会の開催

回数・期日・場所	出席者	議案	結果
第1回 令和6年5月9日(木) 保健福祉センターだいせん	評議員12名 理事2名 監事2名	1. 理事の選任について	議決
定時評議員会 令和6年6月27日(木) 保健福祉センターだいせん	評議員9名 理事2名 監事2名	1. 令和5年度事業報告及び決算について	議決
第3回 令和6年11月28日(木) 保健福祉センターだいせん	評議員10名 理事2名 監事2名	1. 令和6年度第1次補正予算(案)について	議決
第4回 令和7年3月17日(月) 保健福祉センターだいせん	評議員10名 理事2名 監事1名	1. 令和6年度第2次補正予算(案)について 2. 令和7年度事業計画(案)について 3. 令和7年度予算(案)について 4. 定款の変更について 5. 役員等賠償補償について	議決

③理事協議会の開催

回数・期日・場所	出席者	議案
第1回 令和6年5月27日(月) 保健福祉センターだいせん	理事7名	1. 社協賛助及び特別会費納入依頼企業の選定について 2. 今後の福祉バス運行事業について 3. 定年延長について

④監査会の開催

期日・場所	出席者	議案
決算監査会 令和6年5月23日(木) 保健福祉センターだいせん	監事2名 理事1名	1. 令和5年度大山町社会福祉協議会業務の執行状況 2. 令和5年度大山町社会福祉協議会会計決算の状況 3. 令和5年度大山町社会福祉協議会資産の状況

⑤役員研修等の参加・実施

【市町村社会福祉協議会役員セミナー】

期日・会場	令和6年6月14日(金) 保健福祉センターだいせん(オンライン開催)
出席の状況	7名(役員、職員)
内容	【テーマ】本気でつくる社協版BCP ～緊急時でも地域に必要とされる社協活動を継続するために～

【地域福祉県民講座「第46回緑陰大学」】

期日・会場	令和6年6月28日(金) ハワイアロハホール
出席の状況	10名(役員、評議員、職員)
内容	【講演1】「災害時にもいきる日頃の支え合い～能登半島地震を踏まえて～」 (講師) 山下弘彦 氏(日野ボランティアネットワーク代表) 【講演2】「ヤングケアラーを体験して～周りの人と一緒に～」 (講師) 松岡 園子 氏(元ヤングケアラー)

【県民総合福祉大会】

期日・会場	令和6年9月12日(木) 米子コンベンションセンター
出席の状況	10名(役員、評議員、職員)
内容	・表彰式(県知事、県社協会長ほか) ・活動発表 「『はがき出し運動』コロナ禍～その後」 発表者: 小鴨シニアクラブ協議会 会長 北村隆雄 氏 「やってみたいをかたちにして～コロナ禍の活動でみつけたこと～」 発表者: 伯耆町老人クラブ連合会 会長 米田述史 氏 ・アトラクション 「米子がいな太鼓保存会と米子城武者隊によるコラボレーション演奏」 出演: 米子がいな太鼓保存会・米子城武者隊 ・記念講演 「注文をまちがえる料理店のこれまでとこれから」 (講師) 一般社団法人 注文をまちがえる料理店常務理事 元 NHK 番組ディレクター 小国士朗 氏

【大山町地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会】

期日・会場	令和7年1月28日(火) 保健福祉センターなわ
出席の状況	委員11名 事務局5名
協議事項	大山町地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について

⑥大山町共同募金委員会

開催日	会議名	参加者数
令和6年4月18日(木)	監査会	6名
令和6年4月25日(木)	第1回運営委員会	10名
令和6年9月9日(月)	第2回運営委員会	10名
令和7年3月6日(木)	第3回運営委員会	11名
令和7年3月26日(水)	第1回審査委員会	8名

(2) 法人の運営管理

【運営会議】

回数	期日	内容
第1回	令和6年4月26日(金)	介護サービスキャンセル料の設定について ほか
第2回	令和6年5月28日(火)	決算監査報告、交通事故報告について ほか
第3回	令和6年6月27日(木)	介護システム導入について ほか
第4回	令和6年7月29日(月)	センターなかやま冷暖房設備修繕について ほか
第5回	令和6年8月27日(火)	令和7年度新採用正規職員採用試験について ほか
第6回	令和6年9月27日(金)	上半期自己評価について ほか
第7回	令和6年10月29日(火)	経営分析、令和7年度新採用職員採用試験について ほか
第8回	令和6年11月27日(水)	感染症対策、ICT 補助金申請について ほか
第9回	令和6年12月27日(金)	ケアプラン点検報告 ほか
第10回	令和7年1月28日(火)	育児介護休業法改正、互助会解散について ほか
第11回	令和7年2月27日(木)	介護事業収支について ほか
第12回	令和7年3月27日(木)	令和7年度各種連絡事項 ほか

【虐待防止並びに身体拘束適正化検討委員会】

期日	内容
令和6年4月10日(水)	案件協議

【職員研修】

開催日	研修名	参加者数
令和6年4月12日～4月23日	マナー・接客研修(動画配信)	51名
令和6年5月22日(水)	感染症・食中毒予防及び蔓延防止研修	37名
令和6年6月12日～6月21日	プライバシー保護と法令順守研修(動画配信)	51名
令和6年9月3日(火)	交通安全研修	35名
令和6年10月15日～10月23日	認知症及び認知症ケアに関する研修(動画配信)	42名
令和6年11月13日～11月25日	虐待及び身体拘束防止に関する研修(動画配信)	38名
令和6年11月16日(土)	災害ボランティアセンター設置訓練	48名
令和6年12月19日(木)	人権研修	33名
令和7年3月4日(火)	職員健康指導会	27名
令和7年3月27日(木)	腰痛予防研修	20名

(3) 社協会費納入状況

種別	件数		金額(円)	
	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度
普通会費	4,246	4,103	4,246,000	4,102,500
賛助会費	36	40	72,000	94,000
特別会費	36	42	215,000	265,000
合計	4,318	4,185	4,533,000	4,461,500
考察・評価	近年大山町は人口減少、世帯数減少となっているが、現在ある世帯数のうち8割弱の世帯が社協の普通会員となっている。今年度も同じ割合での加入率となっている。賛助、特別会員については、町内143か所に対し役職員で訪問による勧誘活動を行い、65件の加入をいただき、収入増となった。			

(4) 香典返し等寄付金状況

種別	件数		金額(円)	
	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度
香典返し	167	149	2,818,900	2,839,000
見舞い返し	0	1	0	10,000
一般寄附	4	2	25,895	296,579
その他 (物品)	2	3	0	53,660 砂糖68kg
合計	173	155	2,844,795	3,199,239
考察・評価	令和5年度より件数は減少しているが、寄附金額自体は増加している。			

(5) 広報・啓発活動の充実

【広報誌「ほほえみ」の発行】

号数	発行月	主な内容
96号	令和6年4月	・令和6年能登半島地震義援金について ・事業報告(災害ボランティアセンター設置運営訓練) ・災害ボランティアの登録のお願いについて ・令和6年度事業計画・事業収支予算書について ・事業報告(地域福祉推進員研修会) ・令和6年度会員募集のお願いについて ・リユース事業リテラスの事業紹介 ・レクリエーション用品の紹介 ・事業報告(家族介護教室) ・家族介護者交流事業/男の料理塾参加者募集について ・令和6年度大山町社会福祉協議会職員体制図 ・新規職員紹介 ・今月のひとことグランプリ投票について ・寄付者一覧/相談所ご案内/町民掲載コーナー
97号	令和6年7月	・おでかけサロンについて ・つな Go カー貸出事業について ・令和6年度共同募金配分金活用助成事業決定について ・新理事/新評議員のご紹介 ・令和5年度事業報告・決算/資金収支計算書 ・パーソナルサポートセンターだいせんの紹介 ・子どもの学習支援事業について ・大山町社協が提供する介護保険事業の紹介 ・障がい福祉サービス事業の紹介 ・ささエール通信(大山町ボランティアセンター) ・令和6年度ボランティア保険のご案内 ・参加者募集のお知らせ (男の料理塾/地域で学防災/運転ボランティア研修会) ・寄付者一覧/相談所ご案内/町民掲載コーナー
98号	令和6年10月	・夏休みチャレンジスクール2024 ・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 ・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金のつかいみち ・ささエール通信 ・地域福祉座談会について ・HP リニューアルお知らせ ・男の料理塾参加募集 ・令和6年度社会福祉功労者表彰 ・令和6年度会費納入について ・寄付者一覧/相談所のご案内/町民掲載コーナー

号数	発行月	主な内容
99号	令和7年1月	・赤い羽根共同募金 チャリティーミニサッカー大会 ・令和7年年頭あいさつ(大原会長) ・高齢者疑似体験、車椅子体験 ・大山町共同募金委員会より募金額の報告 ・令和7年度共同募金配分金活用助成事業についてのお知らせ ・ささエール通信 - ボランティアフェスティバル2024について - ボランティア募集について - ささエールポイントについて - 災害ボランティアセンター設置訓練演習について ・リユース事業リテラスについて ・寄付者一覧/相談所のご案内 ・新規職員紹介 ・男の料理塾 参加者募集 ・団体紹介 大山町身体障害者福祉協会 ・町民掲載コーナー
考察・評価		年4回(96、97、99号は8ページ・98号は6ページ構成)で発行。住民に向けて福祉に関する情報や社協の行う事業の情報を提供できるよう作成した。住民が求めている情報とは何か、またどのような構成が伝わりやすいのかを模索しつつ、今後もより良い広報誌作成に努めていく。

【ホームページ、SNS (Facebook) 等の運営】

Facebook (フェイスブック)	各事業所(通所だいせん、地域密着ほほえみ、福祉総務課)ごとに、各週で記事を投稿している事業所ごとでの行事または研修等の案内、各種事業等の告知・説明を行っており、地域住民や他団体に向けて情報提供を行っている。
Instagram (インスタグラム)	各事業各事業所(通所だいせん、地域密着ほほえみ、福祉総務課)ごとに、定期的に投稿を行っている。社内の雰囲気をもより住民に理解してもらえるようキャッチーな内容での投稿が多い。フォロワー数も増加しており、県内外の方にたくさん見て頂いている。
ホームページ	ホームページは、令和6年度リニューアルし、自分たちでページの編集が行えるようになった。今後も、ホームページや SNS を利用し当会への理解・共感・協力の体制づくりを行っていききたい。

(6) 生計困難者に対する相談支援事業(えんくり事業)

支援人数	5名(令和5年度 4名)	延べ支援回数	6回(令和5年度 6回)
支援内容	電気料金/ガス料金/食料品/介護用品/ガソリン代/医療費		
考察・評価	食料品や滞納解消によるライフラインの確保など、緊急かつ既存の制度の対象とならない相談に対応すべく、鳥取県社会福祉協議会を基幹とした県内社会福祉法人共同の支援事業を実施している。 【支援1】ガス料金および電気料金 【支援2】ガス料金および電気料金 【支援3】台所シンクの危険箇所修繕 【支援4】食材およびガソリン代等 【支援5】電気料金		

2. 生活支援体制整備事業

(1) 地域福祉座談会の開催

内容	・社会福祉協議会の事業紹介(地域福祉活動の説明) ・地域支え愛活動の紹介(DVD 視聴)		
開催集落数	9集落 (令和5年度 10集落)		
参加人数計	63人 (令和5年度81人)		
考察・評価	令和6年度の開催計画は20集落。集落の都合により開催は9集落のみとなったが、多くの集落で社協事業への理解が深まったとの感想をいただいた。また下坪集落においては民生委員の希望により、支え愛マップづくりの演習を実施した。		
【開催集落】			
集落名	日程	会場	参加人数
古原	令和6年6月14日	原集会所	7名
神原	令和6年7月5日	神原多目的共同施設	9名
新高田	令和6年7月12日	新高田公民館	7名
大塚	令和6年8月23日	大塚公民館	8名
営団	令和6年9月13日	営団公民館	7名
今在家	令和6年10月4日	今在家公民館	7名
下坪	令和6年11月8日	下坪公民館	6名
種原	令和6年11月27日	種原集会所	7名
楽仙	令和7年3月14日	楽仙集会所	5名

(2) 生活支援コーディネーター活動状況

	期日・会場	協議内容	参加数
1	5月20日(月) 保健福祉センター なわ	【第1回大山町シン・福祉ミーティング】 ・関係機関の令和5年度活動報告及び事業説明 ・意見交換「昨年度の取り組みで感じたこと、今年度取り組みたいこと」	33名
2	6月26日(水) 中山温泉館	【健康ルンルン体操(楽しもなかやま主催)】 ・社協SC講義「地域とつながる活動について」 ・意見交換「社協事業について」	31名
3	7月8日(月) 保健福祉センター なわ	【第2回大山町シン・福祉ミーティング】 ・ウェルビーイング研究所(おせっかい人)活動報告 ・意見交換「地域資源について」	32名
4	9月19日(木) 保健福祉センター なわ	【令和6年度大山町地域ケア推進会議・生活支援体制整備推進協議体会議】 テーマ「高齢者の生活支援について」	18名
5	9月30日(月) 保健福祉センター なわ	【第3回大山町シン・福祉ミーティング】 ・スマイル大山号の10月からの運行について(まちづくり課) ・地域とつながる活動について(大山町社会福祉協議会) ・グループワーク「大山町の集いの場マップを作ろう」	36名

	期日・会場	協議内容	参加数
6	11月18日(月) 保健福祉センター なわ	【第4回大山町シン・福祉ミーティング】 ・活動報告(ふれあいの郷かあら山) ・社会教育拠点施設(公民館)のリニューアルについて (まちづくり課) ・グループワーク「公民館にどのような機能があればよいか」	35名
7	12月2日(月) 保健福祉センター だいせん	【令和6年第3回大山町おせっかい人勉強】 ・地域資源マップを作ろう!	13名
8	1月20日(月) 保健福祉センター なわ	【第5回大山町シン・福祉ミーティング】 ・取組報告(健康推進課) ・取組報告(長寿支援課) ・グループワーク「社会資源マップをまとめよう!」	39名
9	2月20日(木) 保健福祉センター なわ	【令和6年度大山町地域ケア推進会議・生活支援体制整備推進協議体会議】 テーマ「介護認定のない軽度、又は介護保険外の生活支援サービスニーズの増加について」	14名
10	3月17日(月) 保健福祉センター なわ	【第6回大山町シン・福祉ミーティング】 ・各団体取組報告 ・グループワーク「今年度の振り返り、次年度に向けて」	31名
考察・評価		大山町役場をはじめ、暮らしの保健室やおせっかい人、地域自主組織が集まり地域課題について協議する「大山町シン・福祉ミーティング」に生活支援コーディネーター4名が参加した。9月には、社協職員がファシリテーターとなり、町の地域資源マップの作成を提案して作成を行う。新たな地域資源を知ることができ、今後も半年に1回程度会議の中で見直しをしていくこととなった。 その他にも、サロンの共同開催や関係機関主催の研修会参加などを通して、地域のネットワーク構築を図っている。	

(3) 有償ボランティア「ささえあいたい」利用等状況

	中山地区		名和地区		大山地区		合計	
	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度
延べ利用件数(件)	2	1	18	3	8	7	28	11
実利用件数(件)	1	1	1	1	3	5	5	7
援助会員数(名)	5	5	7	6	7	11	19	22
考察・評価	名和地区の独居高齢者宅への個別訪問時、庭の草取りが難しいとお話されたため、ささえあいたいによる支援を実施。その他にも、以前より依頼のあるゴミ出しや庭の草取り、買い物の支援を行った。 3名の新規援助者があったが、分野ごとで割り当てると十分な登録人数ではなく、登録者を増やすことが課題となっている。							

(4) 地域活動車「つな Go(ごう)カー」貸出事業

	利用団体	利用日	利用者数	利用目的
1	栄田集落	令和6年8月29日	6名	ふれあいいきいきサロンにて、大山方面にドライブ
2	支え合いのまち御来屋	令和6年10月23日	10名	ふれあいの郷かあら山で開催されたボッチャ事業の交流会参加
3	かあら山	令和6年11月6日	10名	大山、鍵掛峠へ紅葉観光
4	下田中集落	令和6年11月19日	8名	大山周辺の紅葉観光
5	平田集落	令和6年12月5日	6名	ふれあいの郷かあら山で開催する「語ろう会」への移動手段
考察・評価		今年度より、交通手段がなく外出が困難な方への買い物や観光等フレイル予防の外出サロン活動での使用を可能とすることで、計5件の貸出があった。次年度以降は、使用範囲を大山町内、米子市内、日吉津村内、伯耆町内、南部町内、琴浦町内に拡大する。		

3. さわやか福祉基金事業

(1) 地域福祉に関する調査活動

訪問件数	令和5年度	令和6年度
	104 件	119 件
考察・評価	防災グッズ配布世帯を訪問し、地域課題の聞き取りと非常食の交換を行った。また地域住民や行政関係機関等から相談のあった世帯についても同様に、自宅訪問により生活状況を把握して必要なサービスにつないでいる。 福祉サービスや生活保護など公的な支援を受けていない世帯については、それぞれの状態に応じて個別に定期訪問し、見守りを兼ねて社会資源の情報提供などを行っている。	

(2) 地域福祉推進研修会の開催

【第1回地域福祉推進研修会】

期日・会場	令和6年8月31日(土) 中山温泉生活想像館わくわくホール ※台風接近の為中止
内容	資料配布「週刊マンガつながる通信」9号、10号
被表彰者	9名5団体
考察・評価	福祉功労者表彰式と併せて開催予定であったが、台風10号が接近する恐れがあったため中止となった。講師として依頼していた酒井保氏の「つながりを切らせない、孤立させない、新しいつながり方を提案する、週刊マンガつながる通信」を福祉大会の資料と併せて配布した。

【第2回地域福祉推進研修会】

期日・会場	令和7年3月1日(土)保健福祉センターなわ
内容	社会福祉協議会事業説明 福祉推進員の役割説明(気づきハンドブック 紙芝居) 事例発表(岡集落 サロン世話人)
参加者数	98名
考察・評価	第2回の研修会は、社協事業・福祉推進員の役割を説明。福祉推進員については鳥取県社協発行の「気づきハンドブック」を紙芝居形式で行い、身近な人のふだんの様子と違うサインに気づくことの大切さ、地域の中でささえあいについて理解を促進することができた。その後、事例発表ではサロンでの取り組み内容や、体操や脳トレ、マジックなどの実演を交えてお話をしていただき、参加者の機運を盛り上げていただけたと感じた。

(3) 地域見守り事業

「集落レストラン」実施状況

開催日	開催地区	参加者数	考察・評価
令和6年4月9日	坊領	41名	令和6年度も4集落が実施。集落により地域のボランティアや地域団体と共同で継続実施されており地域住民との関わる機会の創出に繋がっている。
令和6年4月29日	八重	9名	
令和6年6月3日	国信	39名	
令和6年6月25日	坊領	35名	
令和6年7月8日	八重	10名	
令和6年8月6日	坊領	61名	
令和6年9月9日	国信	35名	
令和6年10月8日	坊領	47名	
令和6年11月27日	国信	30名	
令和6年12月4日	羽田井	30名	
令和6年12月17日	坊領	49名	
令和7年3月11日	坊領	53名	

(4) ボランティア活動の推進

① ボランティアに関する相談・登録・斡旋状況

	令和5年度	令和6年度
ボランティア登録者数	68名	76名
依頼件数	20件	23件
斡旋件数	78件	180件
延べ派遣人数	246名	306名

②ボランティア派遣状況

事業名	依頼者	活動場所	内容	活動日数	人数
離乳食講習会	こども課	保健福祉センター なわ	託児	5日	32名
幼児食講習会	こども課	保健福祉センター なわ	託児	2日	13名
ハッピー子育て プログラム	こども課	保健福祉センター なわ	託児	5日	19名
ファミサポ交流会	大山町ファミリー サポートセンター	大山町ふれあい 会館	託児	4日	10名
マラソン大会	名和小学校	名和小学校	見守り	1日	7名
健康診査託児	健康推進課	保健福祉センター なわ	託児	9日	11名
おせっかい人勉強会	コミュニティーウェル ビーイング研究所	保健福祉センター だいせん	託児	1日	3名
皆生トライアスロン	商工観光課	町内自転車コース 上	イベント	1日	5名
カフェ大山	通所介護だいせん	保健福祉センター だいせん	イベント	1日	1名
夏休み チャレンジスクール	大山町社会福祉 協議会	名和トレーニング センター	見守り	1日	2名
食生活改善推進員 養成講座	健康推進課	保健福祉センター なわ	託児	6日	11名
フラダンス	通所介護だいせん	保健福祉センター だいせん	託児	1日	1名
はまなすサイクリング	中山まちづくり 実行委員会	フォーラムなかやま 等	イベント	1日	7名
買い物外出	通所介護だいせん	まるごう淀江店	見守り	5日	7名
花回廊外出	通所介護だいせん	花回廊	見守り	7日	13名
将棋ボランティア	通所介護だいせん	通所介護だいせん	介護	2日	2名
福祉教育サポーター	大山町社会福祉 協議会	町内小学校	福祉教育	6日	11名
おでかけサロン 運転ボランティア	大山町社会福祉 協議会	町内施設	運転	4日	4名
男の料理塾	大山町社会福祉 協議会	保健福祉センター だいせん	調理	4日	16名
朗読ボランティア	地域密着型 通所介護ほほえみ	地域密着型 通所介護ほほえみ	朗読	10日	13名
傾聴ボランティア	地域密着型 通所介護ほほえみ	地域密着型 通所介護ほほえみ	傾聴	41日	45名
傾聴ボランティア	通所介護だいせん	通所介護だいせん	傾聴	43日	46名
傾聴ボランティア	ル・ソラリオン名和	ル・ソラリオン名和	傾聴	10日	17名
衣類補修ボランティア	ル・ソラリオン名和	ル・ソラリオン名和	裁縫	10日	10名

③ボランティアセンターの充実強化

【ボランティア連絡協議会の開催】

期日	内容
令和6年4月15日(月)	・各団体の活動報告 ・ボランティアフェスティバルについて ・ボランティア連絡協議会委員委嘱について
令和6年7月19日(金)	・各団体の活動報告 ・ボランティアフェスティバルについて
令和6年9月20日(金)	・各団体の活動報告 ・令和6年度ボランティアフェスティバルについて
令和7年1月24日(金)	・令和6年度ボランティアフェスティバルについて ・今年度の振り返り・次年度の開催について

【ボランティアフェスティバル実行委員会の開催】

期日	内容
令和6年5月13日(月)	ボランティアフェスティバルについて
令和6年6月10日(月)	
令和6年8月28日(水)	

【ボランティアフェスティバル】

期日・会場	令和6年10月26日(土)～27日(日) 名和農業者トレーニングセンター
考察・評価	ボランティア団体の周知や勧誘を目的とした「ボランティアフェスティバル」を大山町文化祭の中で開催した。活動案内ポスターの掲示や2団体による活動体験コーナーを設け、来場者へボランティア団体やセンターについて周知する。ボランティアセンターには2名の新規登録者、また新規加入者があった団体もあり、一定の成果が見られた。次年度開催について、令和7年度のボランティア連絡協議会の中で協議していく。

④ボランティア活動啓発・育成事業

【地域で学防災(まなぼうさい)】

期日・会場	令和6年7月27日(土) 保健福祉センターだいせん
参加者数	26名(令和5年度 16名)
考察・評価	日野ボランティアネットワークの山下弘彦様を講師に迎え、「災害に強い地域づくりの重要性」と題して講演いただいた。能登半島地震発生時の現地の状況や住民支援、地域支援の動きなど現場の声やメディアでは深く取り上げられていないことなどもお話しされた。被災地にボランティア活動に行くことだけがボランティアではないことを、事例を通してわかりやすくご講演いただいた。防災意識を高めるとてもよい事業(講演会)であるが、毎年広報誌やSNSだけでは参加者が集まらない。地域住民の方から自主的に参加いただけるような募集方法、事業内容の検討が必要。

【運転ボランティア研修会】

期日・会場	令和6年9月18日(水) 保健福祉センターなわ
参加者数	1名
考察・評価	社協事業の中で行っている「おでかけサロン」の運転手育成のための研修会を開催した。1名のみ参加となったが、講義や実地研修を行ったのち、おでかけサロンの運転手として、令和6年度は3回活動された。今後も随時募集を行っていき、依頼があった際は研修を行い、ボランティア登録者増を目指す。

【男の料理塾】

回数・期日・場所	参加者	考察・評価
第1回 令和6年5月29日(金) 保健福祉センターだいせん	16名	大山町婦人会の4名にご指導いただき「たこ飯、すまし汁、茶わん蒸し、鮭のホイル焼き」を調理。このたびの料理塾から、次回参加希望の聞き取りを実施。10名程度次回参加の意思表示をされた。 また、サックス演奏を趣味にしている参加者がおられ、食後に演奏会を開催するなど調理とは違った楽しみを味わってもらえたと感じている。
第2回 令和6年8月20日(火) 保健福祉センターだいせん	15名	調理ボランティアグループ「ひまわり」の3名と、ボランティアセンター登録の調理ボランティア1名にご指導いただき「ごはん、冷や汁、ポテトサラダ、ささみとアスパラガスの黒コショウ炒め」を調理。昨年度参加者よりアンケートを取り希望が多かった「酒のつまみ」になるものも献立の中に入れて取り組んだ。食後はサロンで行うゲームを楽しみ、サロンへの理解を深めた。
第3回 令和6年11月26日(火) 保健福祉センターだいせん	19名	大山町婦人会4名に調理のご指導を頂き、『キンパ、茶碗蒸し、いわし団子、すまし汁』を調理。今回は、普段海苔巻きの経験がない事を想定しキンパ(韓国風海苔巻き)という新たな挑戦メニューを取り入れた。4名の参加者から電話申込を受けた。数的には少ないが会を増すごとに自ら申し込んでくださる方が増えている。食後は、参加者の方のマジックショーを行い、参加者全員を巻き込んだ体験型であった。
第4回 令和7年2月28日(金) 保健福祉センターだいせん	21名	下市でおむすび屋ひとむすびを営む小橋俊哉氏とひまわりグループ3名を調理講師としてお迎えし、『おむすび、鶏むね肉甘酢照り焼き、けんちん汁、白菜とハ朔のサラダ、わらび餅』を調理。おむすびは、小橋氏の実演も交え指導頂き、参加者にも握って頂いた。 また、直後は小橋氏による落語を行った。参加者より「カラオケとかもしたいな」などの声もあり男の料理塾が《集いの場》となりつつあると感じた。

(5) 災害ボランティアセンター関連

【災害ボランティアセンター設置模擬訓練】

期日・会場	令和6年11月16日(土) 9:00~12:00
参加者数	48名
考察・評価	日野ボランティアネットワークの森本智喜氏を講師にお迎えし、「みんなで作る大山町災害ボランティアセンター」という題で前半は講義、後半は演習を行った。演習では必要最低限の準備にとどめ、その場にあるものだけを使ってボランティアセンターを開設した。昨年度もロールプレイを行ったが、新たな学びや気づきもあり、毎年計画的に訓練を実施していく必要があると感じた。

(6) 福祉教育の推進

【福祉教育推進校助成】 町内小学校4校、中学校3校に合計346,000円助成

【福祉教育推進校連絡会】

期日・会場	令和6年6月19日(水) 保健福祉センターなわ
内容	・令和5年度福祉教育推進事業報告及び令和6年度福祉教育推進事業計画の報告 ・福祉教育について ・赤い羽根共同募金について ・リユース事業 リテラスについて
参加者数	5名(町内小中学校福祉教育担当教職員)

【夏休みチャレンジスクール】

期日・会場	令和6年7月31日(水) 10:00~13:10 大山青年の家
参加者数	19名(小学生12名 保護者1名 ボランティア2名 講師4名) (令和5年度 29名)
考察・評価	福祉教育の一環として、障がいの有無に関わらず行えるスポーツである、ふうせんバレーを講師の指導の下、地域のボランティアの方と一緒にを行った。 また、高齢者体験疑似セットを着用し身体の動かしにくさや、車椅子を使用し介助する側とされる側を体験し身近にある「ふくし」について考えるきっかけとなった。

【高齢者疑似体験学習・車椅子体験学習】

期日	内容	会場	参加者数
10月30日(水)	高齢者疑似体験	大山西小学校	51名
11月15日(金)	高齢者疑似体験	中山小学校	26名
11月20日(水)	高齢者疑似体験	名和小学校	39名
12月13日(金)	車椅子体験	中山小学校	26名
1月28日(火)	車椅子体験	名和小学校	37名
2月10日(月)	高齢者疑似体験・車椅子体験	大山小学校	11名
考察・評価	今年度も、小学校4校での福祉体験学習を実施。高齢者疑似体験では、グループの一人に疑似体験グッズを装着しコース内を歩き他の生徒は、案内を行う中で気づきを得る学習。車椅子体験は、段差やスロープなどを含めたコースを設定し、全生徒に乘る側・介助する側を体験するメニューで実施。体験を通して、生活の不自由さを学ぶと同時に、どのようにしたら解決できるのかを考える時間となった。		

(7) リユース事業「リテラス」

学生服	受付支所	大山支所、名和支所、中山支所	寄付数	11着(計27着)
	譲渡場所	大山支所	譲渡数	0着
	考察・評価	高校の制服を中心に、徐々に寄付数が増えている状況。現在、県内中西部8校の高校の制服と中山小学校の制服を保管している。引き続き広報活動を行い、広く事業の周知を行っていく。		
学習机	受付支所	大山支所、名和支所、中山支所	寄付数	1台
	譲渡数	0台		
	考察・評価	令和7年1月より大型こども用品の取り扱いを開始。2月には学習機の寄付が1台あり。子育て支援センターとの連携も行いながら、引き続き町内で資源が循環する仕組みづくりを行っていく。		

4. ふれあいのまちづくり事業

(1) 心配ごと相談

開設日	毎月第2水曜日(祝祭日は翌日)	相談員	民生委員
会場	保健福祉センターだいせん	相談件数	5件(令和5年度 4件)

(2) 法律相談

開設日	毎月第4水曜日(祝祭日は翌日)	相談員	弁護士
会場	保健福祉センターだいせん	相談件数	37件(令和5年度 46件)

5. 日常生活自立支援事業

	中山地区		名和地区		大山地区		合計	
	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度
利用件数	0	0	3	3	1	1	4	4
相談件数	0	1	3	4	2	1	5	6
終了件数	0	0	1	0	0	1	1	1
支援員(人)	0	0	3	3	2	2	5	5
利用延回数	0	0	27	38	9	1	36	39
利用者の内訳	高齢者4件							
相談件数内訳	高齢者5件、精神障がい者1名							
終了件数内訳	高齢者1件							
考察・評価	相談件数について、いずれも関係機関からの相談。生活保護受給世帯や複合的な課題を抱えた世帯など相談者の状況は多様。成年後見制度や生活困窮者自立支援制度など他制度での対応が適切な案件については関係機関へとつないでいる。親族管理となり利用者1名が終了。							

6. 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付利用状況

貸付種別		件数		考察・評価
		令和5年度	令和6年度	
新規相談件数		25	24	生活福祉資金貸付についての具体的な相談は6件であったが、そのうち5件は車検費用など目的が対象外であること、慢性的な困窮状態であり返済能力が不足していること等の理由により申請には至らず。一時的な生活費不足に陥った相談者に対して、次回給料日までの生活資金を貸し付けした。
新規貸付件数		2	1	
貸付延件数		2	1	
内訳	緊急小口資金	0	1	
	総合支援資金	1	0	
	その他	1	0	

(2) 生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援事業

事業概要	新型コロナウイルス特例貸付の借受人に対し、償還免除申請の案内に未応答の借受人や、償還免除に至らないものの償還が困難な借受人など、特に支援が必要な借受人へのフォローアップを行う。
支援内容	生活状況の確認や面談、償還免除申請の助言、生活再建に向けてサポート 等
支援件数	451件 ※うち相談対応件数 229件
考察・評価	電話で生活状況の確認を行う。償還免除申請や償還が難しく今後の対応についての相談が多く見られた。相談対応件数229件のうち16件については窓口へ来所があり、申請手続きに関する補助や生活相談を実施。必要に応じて、行政担当者等も同席した面談や関係機関との情報共有など、仮請人の生活再建に向け取り組んでいる。定期的に電話連絡しているが繋がらない方も多く、今後は書面郵送以外に自宅への訪問を行っていく。

7. 共同募金配分金事業

(1) 共同募金・歳末たすけあい募金活動実績

種別	令和5年度	令和6年度
赤い羽根共同募金	1,422,698	1,339,779
歳末たすけあい募金	1,335,926	1,241,510
合計	2,758,624	2,581,289
考察・評価	募金については、昨年度と比べ減少傾向にあるため、今年度は、チャリティーミニサッカーを実施し赤い羽根共同募金を多くの方に知って頂けるよう努めた。	

(2) 共同募金配分金活用助成事業

団体	内容	
御来屋4区 自治会	事業名	御来屋4区高齢者健康推進事業
	内容	高齢者を対象としたカラオケサロン、体操教室など認知症予防
	購入品	長椅子1台、折り畳み会議用椅子2脚、ホワイトボード1台
上万自治会	事業名	上万自治会活動各事業の会議等円滑に運営するため座椅子購入
	内容	高齢者の負担軽減のための椅子購入
	購入品	肘付き高座椅子5脚
御来屋1区 自治会	事業名	公民館で使用する座椅子の購入
	内容	公民館で活動する際、座ることが困難な方のための座椅子購入
	購入品	座椅子5脚
曲松部落	事業名	交流の場継続の為の備品購入事業
	内容	公民館での茶話会、研修会等で閉じこもり防止活動
	購入品	座椅子12脚
赤坂銀鈴会	事業名	赤坂銀鈴会そば打ち講習会及び懇親会
	内容	老人クラブの会員拡大のためのそば打ち講習会を実施
	購入品	そば打ちセット
荘田自治会	事業名	自治会館の座椅子購入事業
	内容	自治会員の苦痛軽減のための座椅子購入
	購入品	座椅子12脚
八重部落	事業名	配食サービスとボランティア活動
	内容	食を通して集いの場を提供し、地域交流を図る。調理をするための調理器具の購入、ボランティア活動を行う
	購入品	包丁、まな板ほか調理器具など
大雀自治会	事業名	寒さ対策憩い事業
	内容	月1回の寄合、サロン活動時などの寒さ対策
	購入品	オープンレンジ1台
平木自治会	事業名	平木自治会
	内容	とかく疎遠になりがちな近隣同士のつながりを深め、集落の賑わいを創出するため夏祭りを企画
	購入品	音響設備レンタル料、簡易テント1台
古文原ふるさと 委員会	事業名	サロン古文原及び会議開催用の設備増設事業
	内容	高齢化に伴い、自治会での行事、会議等に参加してもらうための設備充実
	購入品	パイプ椅子20脚
考察・評価	各自治会、集落での活動が再開されるようになったことが伺える。またこの事業の認知度が上がり、申請団体も増加している。共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ」という意識を持っていただけるよう、広報に努める必要がある。	

(3) 赤い羽根タクシー券配布事業

実施期間	令和6年6月17日(月)～令和7年3月17日(月)
対象世帯	①集落内における満75歳以上(令和7年3月31日現在)の独居高齢者または高齢者世帯(夫婦等)が対象。(※高齢者世帯(夫婦等)については一方が75歳以上ならば対象となる。) ②運転免許証を保持していない方(配偶者が免許を保持している場合は対象外)、または自動車等を所持しておらず交通手段の確保が困難な世帯が対象。
配布世帯	157世帯(令和5年度 166世帯)
考察・評価	高齢者世帯等の交通ニーズは非常に高くなってきている。今年度は、昨年度同様チケットの枚数は15枚綴りで配布。令和4年度・5年度に比べて配布世帯は減少してきている。

(4) 布団クリーニング事業(歳末たすけあい募金配分金事業)

実施期間	令和6年11月
対象世帯	①集落内における満75歳以上(令和7年3月31日現在)の独居高齢者または高年齢者世帯等(夫婦等)を対象とする。(※高年齢者世帯(夫婦)については一方が75歳以上ならば対象) ②運転免許を保有していない世帯または、車や原付等の移動手段をもっていない方。
実施世帯	25世帯(令和5年度 39世帯)
考察・評価	昨年度と比較し利用者が大幅に減少している。(※)令和6年度で事業終了。

(5) 防災グッズ配布事業

実施期間	令和7年3月
対象世帯	①集落内における満75歳以上(令和7年3月31日現在)の独居高齢者または高年齢者世帯等(夫婦等)が対象。(※高年齢者世帯(夫婦)については一方が75歳以上ならば対象となる。) ②運転免許を保有していない世帯または、車や原付等の移動手段をもっていない方。 ※防災グッズ配布事業は過去に受けられている方は対象外
配布世帯	12世帯(令和5年度 31世帯)
考察・評価	昨年度と比較し世帯数が大幅に減少している。背景として、令和6年1月に起きた能登半島地震を機に防災グッズをすでに購入し備えている方もいるのではないかと考える。

8. 生きがい活動支援地域型事業（ふれあい・いきいきサロン活動）

（1）ふれあい・いきいきサロン活動の普及促進

	令和5年度				令和6年度			
地 区	大山	名和	中山	合計	大山	名和	中山	合計
実施回数	50	24	46	120	39	31	31	101
開催地区数	21	13	20	54	20	12	15	47
延べ参加者数	1,098 名				922 名			
考察・評価	今年度より新規でサロンを開始された集落・団体が11箇所あり。昨年度より開始したおでかけサロンは24件実施され、集いの場の一つとして定着しつつある。全体の総数は減少しているものの、昨年度まで社協が伺っていたサロンを実施していたが今年度からは集落の方のみで自主的に行うようになった集落もある。大山町役場や暮らしの保健室、地域自主組織と合同でのサロンやミーティングなど情報交換も出来ており、町全体でサロンへの関心が高まっている。							

（2）ふれあい・いきいきサロン世話人研修会の開催

期日・会場	令和6年7月4日（木） 保健福祉センターなわ 多目的ホール
内容	・サロン関連の事業紹介 ・防災ゲーム「これ持ってグー！」ゲーム体験 ・情報交換会
参加者数	23名（令和5年度 20名）
考察・評価	令和5年度にサロンを開催された集落に案内文書を送付し参加者を募った。 前半は、社協事業や町の事業についての説明。後半では、グループに分かれ防災ゲームを体験。前回要望の多かった、サロンの現状や困り事などを話し合う「情報交換会」の時間を長めに設け、情報共有を行った。 また会場内に社協が貸し出し可能なゲームを展示し興味を引く工夫を行った。

9. 家族介護支援事業

（1）家族介護者交流事業

期日・会場	令和6年5月24日（金） 鳥取有隣荘、バルコスコヒ倉吉
内容	因幡有隣荘での懐石料理と庭園散策、アフタヌーンティーとショッピング
参加人数	12名（令和5年度 10名）
考察・評価	今年度より自宅で介護1以上の介護者を介護されている家族が対象となった（要件緩和）。広報誌のみで募集を行い、参加者は前年度と比較して増加。以前と比べ介護者年齢が若くなり50代の家族も多く参加された。町内数か所の介護施設のパフレットを配布。特に元気な認知症高齢者は、家族が困っていても介護度が軽く出てしまうこともあるためグループホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者住宅、老健など施設の特徴や金額などの説明を行い参考にしていただける機会にもなった。

10. 外出支援サービス事業

	令和5年度		令和6年度	
	延べ利用者数	実利用者数	延べ利用者数	実利用者数
	601	20	823	18
考察・評価	延べ利用者数は、定期利用が3名増えたため前年度に比べ増加した。入院や死亡などの理由により、実利用者数は減っている。			

11. 葬儀用祭壇の貸出実績

	中山支所		名和支所		合計	
	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度
仏式祭壇	9	15	15	9	24	24
神式祭壇	0	0	1	1	1	1
合計	9	15	16	10	25	25
考察・評価	昨年度とほぼ同様の実績ではあるが、年々減少傾向にある。					

12. 福祉バス運行実績

利用団体	令和5年度		令和6年度	
	利用回数	延べ人数	利用回数	延べ人数
町関係	3	71	5	96
社協関係	3	59	2	40
老人クラブ関係	11	193	9	174
身障協会関係	0	0	0	0
その他団体	2	33	1	28
合 計	19	356	17	338
考察・評価	令和5年度と比較し利用実績は減少している。令和6年10月～12月にかけ運転手不在の為運行を休止していたことも要因として考えられる。			

13. 福祉センター利用実績

(1) 福祉センターなかやま利用実績

利用団体	令和5年度		令和6年度	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
大会議室	13	349	9	233
中会議室	10	125	7	109
軽作業室	0	0	22	81
介護者教育室	16	69	43	151
カウンセリング室	23	76	0	0
合 計	0	0	81	574
考察・評価	年度途中までデイサービスの元気アップ教室で利用があったが、2月以降は利用者が無くなり利用なし。新規で、学習支援事業での利用申し込みがあり軽作業室の利用回数が増加となっている。			

(2) 保健福祉センターだいせん利用実績

利用団体	令和5年度		令和6年度	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
集会室	65	1,934	68	1,935
大会議室	7	145	11	280
中会議室	27	687	14	438
小会議室	27	687	13	318
相談室	1	4	0	0
2階研修室	23	284	14	179
1階研修室	20	222	16	229
調理実習室	24	271	23	256
機能訓練室	144	993	98	1,273
きゃらぼく室	108	366	58	203
工 房	15	89	21	133
合 計	461	5,682	336	5,244
考察・評価	令和5年度と比較し、利用人数や回数がやや減少している。今後も、様々な活動にセンターを利用頂き施設利用回数を増やしていきたい。			

生活困窮者自立支援事業

1. 自立相談支援事業

(1) 相談の受理及び支援状況

新規相談件数については概ね例年通りの実績となっている。相談者の全般的な傾向としては、何らかの精神疾患や発達障害を抱えており、家族介護など様々な課題が複合しているケースが見受けられた。新規プラン作成は1件だが、令和7年3月に就職が決定したため終結となった。その他に生計安定による終結が1件、本人辞退による終了が1件となっている。関係機関と連携をとりながら支援を継続している複数の困難ケースについては、本人同意が得られていない等の理由により支援プランは作成していない。令和6年10月より、「四半期連絡会」改め「自立支援会議」として関係機関との会議を開催している。

【月別相談件数及び支援プラン数一覧】

月	相談件数	新規プラン 更新プラン	月	相談件数	新規プラン 更新プラン	月	相談件数	新規プラン 更新プラン	月	相談件数	新規プラン 更新プラン
4月	0	0 1	6月	5	0 0	10月	1	0 1	1月	2	0 0
5月	2	0 0	7月	2	1 0	11月	6	0 0	2月	0	0 0
6月	1	0 0	8月	2	0 0	12月	1	0 0	3月	2	0 0

相談件数		相談経路		支援内訳	
相談件数累計	24	本人	11人	住居確保給付金	0人
プラン累計	3	関係機関	13人	えんくるり事業	5回
新規プラン累計	1	知人・家族	0人	フードパートナー事業	8回
更新プラン累計	2	アウトリーチ	0人	生活福祉資金貸付	1人
				生活保護	0人

【相談者の属性】

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明
	0人	2人	1人	2人	6人	4人	6人	1人	2人
性別	男性	女性							
	15人	9人							

相談内容	月別件数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病気や健康・障害のこと		2	1	3		1		2		1		2	12
住まいについて		1				1	1						3
収入・生活費のこと		2	1	5	1	1		4	1	2		1	18
税金・公共料金等の支払い		1	1	3									5
債務について			1	3					1				5
仕事探し・就職について		1	1	1				1		1			5
仕事上の不安やトラブル								1					1
地域との関係について									1				1
家族との関係について				1		1						2	4
子育てのこと													0
介護のこと												2	2
ひきこもり・不登校													0
DV・虐待													0
食べるものがない					1	1		1				1	4
その他								1					1
合計	0	7	5	16	2	5	1	10	3	4	0	8	61

2. 就労準備支援事業

長期の引きこもりにより社会経験の少ない方や、稼働年齢層の生活保護受給者などを対象として事業を実施。それぞれの特性に配慮しながら就労に向けて支援している。1名は3月より大山町役場障害者雇用枠で就職が決定した。福祉事務所と連携をとりながら、被保護者1名の就労準備支援も実施している。

【月別支援実績】

月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数
4月	困窮1名 生保1名	4 4	6月	困窮1名 生保0名	4 0	10月	困窮1名 生保0名	4 0	1月	困窮1名 生保1名	2 4
5月	困窮1名 生保1名	4 5	7月	困窮2名 生保0名	6 0	11月	困窮1名 生保0名	4 0	2月	困窮1名 生保1名	1 4
6月	困窮1名 生保0名	4 0	8月	困窮2名 生保0名	7 0	12月	困窮1名 生保1名	3 4	3月	困窮1名 生保1名	2 4
										利用延人数計	70

3. 子どもの学習支援事業

学力向上や学習定着を主目的としているが、家庭環境に課題のある生徒児童の居場所となる事業としても展開している。実施場所は公共施設に限らず、児童生徒の自宅も対象とするなどニーズに応じて臨機応変に対応。学校関係者や要保護児童対策地域協議会とも密接に連携している。

【月別支援実績】

月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数	月	登録者数	利用延数
4月	中学生4名 小学生1名	19	6月	中学生4名 小学生1名	15	10月	中学生4名 小学生1名	9	1月	中学生4名 小学生1名	7
5月	中学生4名 小学生1名	16	7月	中学生4名 小学生1名	17	11月	中学生4名 小学生1名	11	2月	中学生4名 小学生0名	5
6月	中学生4名 小学生1名	18	8月	中学生4名 小学生1名	9	12月	中学生8名 小学生4名	12	3月	中学生4名 小学生0名	10
										利用延人数計	148

4. 家計相談支援事業

利用者の面談は月1回を基本としているが、緊急性や必要性に応じて臨機応変に対応している。弁護士と委任契約を交わして債務整理開始となった利用者については、より綿密な支出管理が必要となったため週1回以上の頻度で面談をおこなった。

【支援実績】

利用者数	3名	支援延べ回数	48回
主な支援内容	・家計管理表（収支シュミレーション）の作成 ・収支状況の聞き取りおよびレシートの確認 ・支出抑制への助言		

介護保険事業・障がい福祉サービス事業

1. 居宅介護支援事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護給付	R5	91	90	92	89	94	95	94	93	98	93	88	89	1,106件
	R6	88	89	95	99	99	97	95	96	95	87	87	86	1,113件
予防給付	R5	22	23	24	23	20	18	19	21	22	22	24	23	261件
	R6	25	24	23	23	23	23	23	24	23	25	24	25	285件
ケアマネジメントA	R5	18	19	19	20	18	17	18	17	14	14	14	14	202件
	R6	15	13	13	14	12	12	12	13	12	13	10	10	149件
ケアマネジメントB	R5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	59件
	R6	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	52件
合計	R5	136	137	140	136	137	135	136	136	139	134	131	131	1,628件
	R6	133	131	135	140	138	136	134	137	134	129	126	126	1,599件
考察		今年度は介護給付（要介護1～5）の件数が前年度より増えているが、前年度に要支援だった方が要介護になられたことが影響している。 新規の相談件数はR5年度43件⇒R6年度63件と増えているが、実際は自立に近く介護保険サービスが必要ないケース、地域資源を紹介し終了したケースなどが多く見られたため、トータル的な件数は減っていると考えられる。												

2. 訪問介護事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	R5	110	131	134	105	126	132	124	120	120	101	121	130	1,454回
	R6	112	138	133	124	136	98	94	99	109	108	114	127	1,392回
生活援助	R5	110	133	143	141	137	111	119	112	107	100	122	110	1,445回
	R6	110	129	118	130	117	111	116	114	99	73	72	81	1,270回
身体・生活	R5	19	12	2	12	16	13	24	30	46	34	37	44	289回
	R6	36	37	31	33	34	31	34	32	27	16	17	28	356回
総合事業	R5	88	99	81	80	90	96	102	110	105	97	89	79	1,116回
	R6	93	70	61	89	98	94	106	86	93	82	87	99	1,058回
合計	R5	327	375	360	338	369	352	369	372	378	332	369	363	4,304回
	R6	351	374	343	376	385	334	350	331	328	279	290	335	4,076回

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数（介護）	R5	29	30	29	29	26	27	26	27	28	25	26	26	328人
	R6	27	26	28	27	27	24	23	23	24	25	24	26	304人
実利用者数（総合事業）	R5	15	16	15	14	14	15	16	16	16	15	13	13	178人
	R6	14	11	12	12	12	14	15	14	13	14	14	14	159人

※令和5年度 1か月あたりの平均利用者数

42.2人

※令和6年度 1か月あたりの平均利用者数

38.6人

考察		入院や入所での利用者数の減少がある。9月以降は職員の減により、一時的な新規利用者の受け入れの制限もあった。2月以降は職員の追加により新規利用者の受け入れも制限なく受け入れを行っている。												
----	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3. 支援訪問介護だいせん（障がい福祉サービス事業）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体	R5	57	71	77	71	57	54	64	70	65	63	64	72	785回
	R6	70	77	67	73	85	94	98	81	83	76	70	82	956回
生活	R5	37	43	38	41	40	42	38	32	34	27	31	31	434回
	R6	30	11	14	29	24	25	23	19	17	11	12	10	225回
合計	R5	94	114	115	112	97	96	102	102	99	90	95	103	1,219回
	R6	100	88	81	102	109	119	121	100	100	87	82	92	1,181回

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	R5	10	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	124人
	R6	10	10	11	11	12	12	12	11	11	10	10	11	131人

※令和5年度 1か月あたりの平均利用者数

10.3人

※令和6年度 1か月あたりの平均利用者数

10.9人

考察	死亡等での利用者減あり。新規利用者の受け入れにより利用者数の増減は無い。身体的に活動できる利用者が多く、基本的なサービスとしては共に行う身体での支援が中心となっている。													
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

4. 地域密着型通所介護ほほえみ

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	R5	20	23	22	21	23	21	22	22	21	23	21	21	260日
	R6	22	23	20	23	22	21	23	21	22	23	20	21	261日
(介護)延べ利用者数	R5	224	259	257	253	255	265	269	282	276	244	225	221	3,030人
	R6	224	238	217	261	216	217	252	231	196	187	206	222	2,667人
(総合)延べ利用者数	R5	46	54	62	54	58	47	48	41	29	33	35	27	534人
	R6	31	24	26	23	24	24	30	25	24	26	28	28	313人
合計	R5	270	313	319	307	313	312	317	323	305	277	260	248	3,564人
	R6	255	262	243	284	240	241	282	256	220	213	234	250	2,980人

※令和5年度 1日あたりの平均利用者数

13.7人

※令和6年度 1日あたりの平均利用者数

11.4人

考察	10月以降、昨年度と比べ、週5回利用の方が施設入所や入院等により利用が中止となり、かなり減少傾向となった。毎月、体験利用や新規利用の希望が1~2件あり、若干の利用増には繋がった。毎月、音楽療法士の職員による音楽教室や、地域ボランティア様のご協力による朗読、絵画教室、季節の外出行事や手作業、おやつ作りは楽しく取り組んでいただく時間の一つとなっており、今後も継続しながら来年度は利用者増に繋がる新たなサービス提供にも取り組みたい。													
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【元気アップ教室ほほえみ(通所型サービス A)】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	R5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	4	12日
	R6	5	4	5	5	4	4	5	4	4	0	0	0	40日
延べ利用者数	R5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	8	24人
	R6	10	8	10	10	8	12	14	8	8	0	0	0	88人
※令和5年度 1日あたりの平均利用者数														2.0人
※令和6年度 1日あたりの平均利用者数														2.2人

考察	10月に1名の利用希望があったが、体調不良により入院となられ、その後支援1の認定結果であった為、デイサービスの利用変更となられた。1月には2名の方が認定調査により介護認定となられた為、2名共に利用終了となられた。来年度は新たに利用が増えるよう、広めていきたい。
----	--

5. 通所介護だいせん

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	R5	20	23	22	21	23	21	22	22	21	20	21	21	257日
	R6	22	23	20	23	22	21	23	21	21	20	20	21	257日
(介護) 延べ利用者数	R5	389	438	448	408	387	443	420	400	403	379	334	384	4,833人
	R6	377	396	368	421	379	382	386	359	389	343	327	366	4,493人
(総合) 延べ利用者数	R5	82	94	89	80	80	81	85	77	73	59	85	79	964人
	R6	102	73	55	61	63	69	69	73	69	76	74	71	855人
合計	R5	471	532	537	488	467	524	505	477	476	438	419	463	5,797人
	R6	479	469	423	482	442	451	455	432	458	419	401	437	5,348人
※令和5年度 1日あたりの平均利用者数														22.6人
※令和6年度 1日あたりの平均利用者数														20.8人

考察	利用者数は1月、2月は施設入所、体調不良のため入院された方が数名おられたことによって、より利用者数が減少傾向となっている。 新規依頼は断ることなく受け入れている状況であり、問い合わせのあった方は利用に結びついているため利用増につながった。
----	--

【元気アップ教室だいせん(通所型サービス A)】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	R5	4	3	5	4	5	4	4	4	4	4	5	4	50日
	R6	4	4	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	50日
延べ利用者数	R5	23	15	26	22	27	23	22	23	22	23	34	27	287人
	R6	26	32	26	26	24	25	32	24	25	29	28	22	319人
※令和5年度 1日あたりの平均利用者数														5.7人
※令和6年度 1日あたりの平均利用者数														6.4人

考察	1月より新規利用者1名あり。受診、用事等で休まれることがあり変動はあるが、延べ利用者数は前年と比較し増加傾向となっている。
----	---

6. 支援通所介護だいせん（障がい福祉サービス）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	R5	20	23	22	21	23	21	22	22	21	20	21	21	257日
	R6	22	23	20	23	22	21	23	21	21	20	20	21	257日
延べ利用者数	R5	11	13	13	13	13	13	13	7	0	0	0	0	96人
	R6	0	0	0	23	16	21	18	4	4	7	8	9	110人

※令和5年度 1日あたりの平均利用者数 0.4人

※令和6年度 1日あたりの平均利用者数 0.4人

考察	10月で施設入所のため1名利用終了された。1月に1名新規利用者があったため現在は2名の利用者となっているが週1回ずつの利用となっているため延べ利用者数は昨年度と比較し微増で推移している。
----	---

7. サポートセンターだいせん

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
障害者相談支援	R5	19	23	18	16	21	23	25	28	18	21	28	28	268件
	R6	31	35	24	23	23	25	27	27	23	23	18	28	307件
障害児相談支援	R5	6	4	4	4	3	4	4	3	3	6	3	7	51件
	R6	7	6	6	6	6	5	5	3	4	7	5	6	66件
請求件数	R5	25	27	22	20	24	27	29	31	21	27	31	35	319件
	R6	38	41	30	29	29	30	32	30	27	30	23	34	373件
一般相談	R5	7	5	9	6	5	3	7	5	8	5	2	4	66件
	R6	5	5	2	7	4	4	5	5	4	5	5	1	52件

考察	行政や関係機関と連携をとり新規依頼も断ることなく受けサポート一丸となって取り組んだ結果、実績として者・児を合わせて約50件計画相談の増となった。主に障がい者は就労系、障がい児は年度替わりを前に放課後等デイサービスや児童発達支援に結びつくことができた。 利用者それぞれに丁寧なアセスメント、プランの見直しを行い本人や家族の意向に沿った計画作成を行い課題を抱えておられる方の話を傾聴し新たなサービスに繋げるなどのフォローも行う事ができた。 一般相談については、計画相談に結びついた分、若干減少がみられるが内容については困難ケースが多く見られた。 その他、関係機関との情報共有や地域課題解決のための会議や連携強化に向けて取り組みを行った。
----	--

職員研修及び会議等参加状況

	期日	内容	参加数	関係課
1	4月10日	虐待防止検討委員会	1名	共通
2	4月11日	令和6年度市町村老連事務局担当者会議	1名	福祉総務課
3	4月19日	日常生活自立支援事業担当者研修	2名	福祉総務課
4	4月24日	大山町相談支援連絡会	2名	介護課
5	4月24日	令和6年度生活福祉資金市町村社協職員事業説明会	2名	福祉総務課
6	4月25日	令和6年度 第1回「高校生あいさつ・交通マナー運動」	1名	その他
7	5月8日	大山町精神家族会あさひの会	1名	介護課
8	5月8日	生活困窮者自立支援制度初任者研修	1名	福祉総務課
9	5月16日	生活支援コーディネーター研修	3名	福祉総務課
10	5月17日	第1回居宅介護支援事業所合同研修会	4名	介護課
11	5月21日	令和6年度第1回市町村社協常務理事・事務局長会議	1名	その他
12	5月24日	大山町地域包括支援センター連絡会	5名	介護課
13	5月29日	令和6年度第1回生活福祉資金特例貸付フォローアップ研修会	2名	福祉総務課
14	6月3日	支え合いマップ作りインストラクター養成研修	2名	福祉総務課
15	6月3日	第3回大山町スポーツ推進計画策定委員会	1名	その他
16	6月4日	市町村社会福祉協議会新任職員研修(1日目)	1名	共通
17	6月10日	社会福祉主事任用資格取得スクーリング(～12日)	1名	共通
18	6月11日	大山町障害福祉事業所連絡会	4名	介護課
19	6月12日	市町村社会福祉協議会新任職員研修(2日目)	1名	共通
20	6月13日	コミュニケーション研修	1名	介護課
21	6月18日	介護施設における法律実務研修	1名	介護課
22	6月19日	大山町相談支援連絡会	2名	介護課
23	6月20日	介護専門職研修(アンガーマネジメント)	2名	介護課
24	6月23日	福祉の就職フェア	2名	共通
25	6月26日	安全運転管理者講習会	2名	共通
26	6月26日	(介護専門職研修(認知症の理解と疾患別のケア))	1名	介護課
27	6月26日	行動障がい研修会	2名	介護課
28	6月26日	総合福祉課、社会福祉協議会連絡会	2名	共通
29	6月27日	自殺対策と生活困窮者自立支援制度等との連携構築について	2名	福祉総務課
30	6月29日	介護専門職研修(起居・移乗・ポジショニング)	1名	介護課
31	7月3日	介護専門職研修(褥瘡)	2名	介護課
32	7月4日	安全運転管理者講習会	1名	共通
33	7月5日	生活困窮者自立支援事業に係る担当者連絡会	2名	福祉総務課
34	7月6日	主任介護支援専門員更新研修	1名	介護課
35	7月9日	令和6年度重層的支援体制整備事業人材養成研修	1名	福祉総務課
36	7月10日	令和6年度大山町要保護児童対策地域協議会実務者研修会	3名	共通
37	7月10日	大山町要保護児童対策地域協議会実務者研修会	3名	福祉総務課
38	7月11日	介護専門職研修(高次脳機能障害)	3名	介護課
39	7月12日	第2回居宅介護支援事業所合同研修会	5名	介護課
40	7月16日	第36回全国健康福祉祭鳥取大会「地域文化伝承館」説明会	2名	福祉総務課
41	7月17日	令和6年度 第1回大山町総合計画審議会	1名	その他
42	7月19日	地域の権利擁護支援のあり方を考える研修会	2名	福祉総務課
43	7月23日	介護専門職研修(繋がる介護は記録から)	1名	介護課
44	7月24日	大山町障害福祉事業所連絡会	1名	介護課

	期日	内容	参加数	関係課
45	7月28日	大山口列車空襲慰霊祭・平和祈念の集い	1名	その他
46	7月30日	介護専門職研修(高齢者と楽しむレクリエーション)	2名	介護課
47	7月31日	総合福祉課、社会福祉協議会連絡会	2名	共通
48	8月5日	令和6年度第1回大山町地域公共交通会議	1名	その他
49	8月8日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修(中堅職員コース1日目)	1名	共通
50	8月8日	生活困窮者自立支援統計システム研修会	1名	福祉総務課
51	8月9日	大山町総合計画素案作成ワーキンググループ会議(第1回)	1名	共通
52	8月9日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修(中堅職員コース2日目)	1名	共通
53	8月16日	令和6年度 夏季休業中における夜間巡回指導	1名	その他
54	8月20日	介護専門職研修(移乗)	2名	介護課
55	8月21日	大山町相談支援連絡会	2名	介護課
56	8月26日	生活困窮者自立支援制度 人材養成研修	1名	福祉総務課
57	8月26日	労務管理研修	2名	共通
58	8月28日	コミュニティソーシャルワーク研修	1名	介護課
59	8月28日	総合福祉課、社会福祉協議会連絡会	2名	共通
60	8月28日	令和6年度大山町地域包括支援センター運営協議会	1名	介護課
61	8月28日	令和6年度大山町認知症初期集中支援チーム検討委員会	1名	介護課
62	9月5日	苦情受付担当者研修	1名	共通
63	9月18日	ボランティアコーディネータースキルアップ研修会	2名	福祉総務課
64	9月19日	多機関支援精神患者に係る処遇検討会議	2名	介護課
65	9月24日	処遇改善加算説明会	2名	介護課
66	9月26日	第36回全国健康福祉祭鳥取大会「地域文化伝承館」説明会	2名	福祉総務課
67	9月27日	令和6年度 第2回「高校生あいさつ・交通マナー運動」	1名	その他
68	9月27日	鳥取県社協交付金事業効果検証委員会	1名	その他
69	9月28日	主任介護支援専門員更新研修	1名	介護課
70	10月2日	苦情受付担当者研修	1名	介護課
71	10月2日	共同親権に関する研修	3名	福祉総務課
72	10月5日	主任介護支援専門員更新研修	1名	介護課
73	10月7日	ライフステージに応じた意思決定支援	1名	介護課
74	10月8日	総合福祉課、社会福祉協議会連絡会	2名	共通
75	10月9日	年金制度説明会	4名	福祉総務課
76	10月16日	大山町地域包括支援センター研修会	4名	介護課
77	10月16日	日常生活自立支援事業 生活支援員地区別研修会	2名	福祉総務課
78	10月16日	生活支援員地区別研修会	2名	福祉総務課
79	10月25日	重層的支援体制整備事業勉強会	1名	福祉総務課
80	10月29日	主任介護支援専門員更新研修	1名	介護課
81	10月30日	大山町相談支援連絡会	2名	介護課
82	11月1日	大山町地域包括支援センター研修会	4名	介護課
83	11月2日	主任介護支援専門員更新研修	1名	介護課
84	11月8日	成年後見なんでも相談会	2名	介護課
85	11月9日	主任介護支援専門員更新研修	1名	介護課
86	11月13日	主任介護支援専門員更新研修	1名	介護課
87	11月14日	鳥取県民生委員児童委員大会	3名	その他
88	11月14日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修(管理職員コース1日目)	2名	共通

	期日	内容	参加数	関係課
89	11月15日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修(管理職員コース2日目)	2名	共通
90	11月25日	生活困窮者自立支援推進会議	1名	福祉総務課
91	11月27日	総合福祉課、社会福祉協議会連絡会	2名	共通
92	11月28日	大山町要保護児童対策地域協議会実務者研修会	3名	福祉総務課
93	12月4日	介護支援専門員実務研修説明会	1名	介護課
94	12月11日	口腔ケア・オーラルフレイル予防	2名	介護課
95	12月13日	ケアプラン点検	4名	介護課
96	12月17日	メンタルヘルス研修	3名	福祉総務課
97	12月18日	大山町相談支援連絡会	2名	介護課
98	12月18日	消防訓練	3名	共通
99	12月20日	令和6年度第2回市町村社協常務理事・事務局長会議	1名	その他
100	12月26日	第4回大山町スポーツ推進計画策定委員会	1名	その他
101	1月13日	レクリエーションインストラクター研修	3名	共通
102	1月15日	医療介護連携体制の構築に係る調整会議	2名	介護課
103	1月21日	改正育児・介護休業法説明会	1名	共通
104	1月23日	大山町障害福祉事業所連絡会	3名	介護課
105	1月30日	総合福祉課、社会福祉協議会連絡会	2名	共通
106	2月1日	介護支援専門員連絡協議会研修	1名	介護課
107	2月6日	緊急一時支援全国ネットワーク設立シンポジウム	2名	福祉総務課
108	2月7日	生活困窮者自立支援制度 テーマ別研修	1名	福祉総務課
109	2月15日	レクリエーションインストラクター研修	3名	共通
110	2月20日	大山町相談支援連絡会	2名	介護課
111	2月20日	法人後見に関する意見交換会	2名	福祉総務課
112	2月20日	令和6年度第2回大山町地域公共交通会議	1名	その他
113	2月21日	生活困窮者自立支援事業研修企画検討会	1名	福祉総務課
114	2月27日	入浴介助研修	7名	介護課
115	2月27日	中間的就労支援推進セミナー	1名	福祉総務課
116	3月2日	レクリエーションインストラクター研修	3名	共通
117	3月3日	ゲートキーパー研修会	3名	福祉総務課
118	3月4日	入浴介助研修	3名	介護課
119	3月6日	入浴介助研修	8名	介護課
120	3月10日	コミュニティソーシャルワーク研修	2名	介護課
121	3月11日	全国社会福祉協議会オンラインサロン	5名	介護課
122	3月12日	生産性向上研修	3名	介護課
123	3月17日	令和6年度第3回市町村社協常務理事・事務局長会議	2名	その他
124	3月18日	総合福祉課、社会福祉協議会連絡会	2名	共通
125	3月21日	安定的成長を目指す介護事業の経営戦略	3名	介護課
126	3月21日	大山町総合計画審議会	1名	その他